

くじ病院広報No. 1
5



北リアスの風

1 入退院支援と
地域連携

3 地域健康
講演会

2

病院イベント紹介

- ① ママカフェ
- ② 褥瘡対策

岩手県立久慈病院

1

入退院支援部門と地域連携

岩手県立久慈病院

副総看護師長兼看護師長 佐藤 ミヤコ

久慈病院が退院支援に取り組み始めて、7年が経過しております。

はじめは、退院支援の看護師が1人で取り組んでおりましたが現在は入院支援も含めて5人の看護師で取り組んでいます。

年々高齢者、独居・老々世帯の方が多くなり、自宅退院を希望しても難しい問題を多く抱えている方が多い現状です。

今年度は、地域の特別養護老人ホーム・老人保健施設・障害者施設・共同住宅・訪問看護ステーション・病院などを訪問させていただきました。

利用者さんの居住環境や職員の方々の様子を見させていただいたことが、今後の退院支援をすすめるうえでとても役立つと考えております。

また、訪問時にいろいろなご意見を頂きました。病院として貴重なご意見を職員に周知していきます。

今後は、退院支援のあり方の改善にむけて取り組むと共に次年度の活動に活かしていこうと考えています。

入退院支援部門では、地域でサポートをしていただいている皆様の訪問をいつでもお待ちしておりますのでよろしくお願いいたしますこととご意見やご要望もいつでもお受けしたいと思います。

また今後も、今年度と同様に訪問をさせていただき顔の見える関係づくりにも努めて参ります。

患者さんの支援は、病院の職員だけでは生活状況の詳細の把握が出来ていない事などにより充分にできないのが現状です。

そのために、ケアマネジャーの皆様や施設職員の皆様、保健師の皆様・民生委員の皆様など多くの方と協力して希望する退院先で生活できるように支えていきたいと思ひます。

地域で協力して支え合い、住み慣れた所で気心が知れた人たちと生活できるサポートができるように一緒に頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願いします。



2 病院イベントの紹介

① ママカフェ

岩手県立久慈病院

看護師長 浅水 妙子

令和元年12月に初めてのママカフェを開催しました。産前産後休暇、育児休暇取得中の全職種の職員を対象に、子育て支援と仕事に不安なく復職できることを目的として行いました。

12月でもありクリスマスツリーを飾り、皆さんをお迎えしました。参加者は看護師4名で子供たちと一緒に、お茶・お菓子をいただきながら、楽しい時間を過ごすことができました。

内容は病院・看護科の現状、給与・勤務時間等労働条件について、すぎのこ保育所から育児に関するアドバイス、先輩看護師(復職者)からの体験談を聞いてもらいました。

病院からの情報発信、職員間の意見交換の場となり、参加者からは役にたつ話が聞けて良かった、気分転換になったなどの声が聞かれました。



勤務している職員も元気な親子の姿、かわいい子供たちに会うことができ、癒やされる時間となりました。次回は全職種のママさんにも参加してもらい、楽しい企画も考えていきたいと思っています。

今後も休暇中の職員の皆さんと、病院と職員のつながりを大事にしていきたいと思います。

② NST・褥瘡対策委員会の活動

岩手県立久慈病院

NST・褥瘡対策委員会

主任看護師(皮膚・排泄ケア認定) 十文字 晴美

当院では久慈地域全体の褥瘡予防ケアの質向上を図ることを目的として、毎月、NST・褥瘡研修会を開催しています。

講師は当院のNST・褥瘡対策チームのメンバーが担当し、毎年、研修会のテーマを変えながら、幅広い知識を共有できるように取り組んでいます。

今年度は、「栄養の基礎知識」「嚥下調整食分類2013の活用とトロミ剤の使用方法」「運動やリハビリに必要な栄養を考える」「湿潤環境から皮膚を守る方法」「体圧分散寝具を知る」「ポジショニングの基本」をテーマとし、開催しました。



毎回、久慈圏域の医療、介護施設の方々の参加を多数頂いており、院内外スタッフの交流の場ともなっています。

開催する度に、久慈圏域の医療・介護スタッフの方々の褥瘡予防に対する意識の高さを感じています。

これからも、充実した研修会が継続できるように取り組んで行きたいと考えています。



③ ボランティアと久慈病院職員との意見交換会について

岩手県立久慈病院

総務課主事 川端 潤

令和元年12月18日(水)にボランティアの方々と意見交換会を実施いたしました。

年末のお忙しい中、6名のボランティアの方々に参加いただきました。

様々な職種の職員とボランティアの方々が接する機会はあまりなく普段の活動を通じて感じていることや病院への要望などご意見をいただく貴重な時間となりました。

また、病院としては日頃の感謝を伝える良い機会になりました。



1時間程度の意見交換会を予定しておりましたが、多くのお話ができ予定時間を過ぎてしまいました。

今年度は1回のみで開催となりましたが、来年度以降については開催回数を増やしていければと思います。

ボランティア活動は病院と地域との貴重な関わりでもあり、ボランティア委員会としてより委員会を活性化したものにしていきたいと思っています。

今回の意見交換会を通していただいた意見を基にボランティアの方々が活動しやすいよう支援していきます。



3

地域健康講演会

岩手県立久慈病院

事務局次長兼地域医療福祉連携室次長
朽澤 健一

地域住民を対象とした地域健康講演会は、平成8年度から行われ今年度で165回となりました。この講演会は、久慈保健所、久慈市、久慈医師会、久慈歯科医師会、久慈薬剤師会及び当院で組織する久慈医学談話会が主催し、久慈地域4市町村へ出向いて講演を行っております。毎年違う講演テーマにより各部門の方々に講演していただいております。

今回も4市町村全てを計画し、11月の開催で各市町村と調整しておりましたが、10月に発生した台風19号（令和元年東日本台風）の影響により11月の開催が困難となり、予定を延期して12月から1月の間で調整を行い、結果的に野田村と久慈市のみで開催となりました。

今回の講演テーマは、「脂質異常症」と決め、2年次研修医、臨床検査技術科、放射線技術科、看護科、薬剤科及び栄養管理科よりそれぞれの部門の視点から講演いただきました。野田村保健センターでは28名、久慈市元気の泉では30名の参加となり、例年並の参加状況ではありますが、少し寂しい参加者数となりました。

参加された方のアンケートでは、「わかりやすく聞きやすい説明でした。」、「一つのテーマでもそれぞれの職種により切り口が違って楽しく聞くことができた。」、「体操をしてすっきりした。」など大変好評でした。

来年度以降も開催する予定ですので、各部門皆様ご協力をお願いします。



認定証

Certificate of Accreditation



認定第JC349-4号

Accreditation Number

主たる機能：一般病院2

Hospital Type 2

機能種別版評価項目3rdG・Ver.2.0

病院名

岩手県立久慈病院

Iwate Prefectural Kuguri Hospital

殿

貴病院が日本医療機能評価機構の定める

認定基準を達成していることを証する

This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JQ accreditation standards.

認定期間：2019年11月22日～2024年11月21日

交付日：2020年11月6日

初回認定：2004年11月22日



(認定4周年)



公益財団法人 日本医療機能評価機構

Japan Council for Quality Health Care

代表理事 理事長 河北 博

Chairman of the Board Hirobumi Kawakita

病院機能評価認定になりました



今後とも久慈病院をよろしくお願いします

北リアスの風

くじ病院広報 **北リアスの風**

2019年冬号

発行人 岩手県立久慈病院 院長 吉田 徹
〒028-8040 岩手県久慈市旭町10-1
TEL(代表) : 0194-53-6131
FAX(代表) : 0194-52-2601



北リアスの風

2019年 冬号

